

令和 2 年度業務実績報告書

提出日 2021 年 1 月 21 日

1. 職名・氏名 教授 唱 新

2. 学位：博士学位、専門分野：経済学、授与機関：福井県立大学、授与年：H23 年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 中国経済論（2 単位 毎年開講） 2 年生 ② 内容・ねらい 中国の工業化、外資系企業の対中直接投資、地域経済の発展、国民生活の改善などを中心に中国型経済システムの形成、現状と課題を説明し、学生諸君の中国への関心を高め、その理解を深める ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 経済成長の一般理論の解明からはじめ、その一般理論に基づいて、中国の現実を説明し、中国経済システムの現状、特徴と課題を解明する。講義中、板書、ビデオ、パワーポイントなどを活用して、わかりやすく説明する。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 中国の経済と企業（2 単位 毎年開講） 3 年次 ②内容・ねらい 企業と産業の視点から企業制度の変化、主要産業の発展、有力企業の経営実態などを説明し、中国経済成長の構造的特徴及び中国型ビジネスモデルへの理解を深める ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 中国企業の事例を中心に中国型ビジネスシステムを説明する。講義中、板書、ビデオ、パワーポイントなどを活用して、わかりやすく説明する。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 アジア経済最前線と地域経済（2 単位 2020 年開講） 3 年次 ② 内容・ねらい アジアの経済発展の潜在力と日本、福井企業の対応 ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 国際貿易の理論に基づいて、中国東北地区と北東アジア諸国との経済協力の潜在力をわかりやすく説明する
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎ゼミ（2 単位、毎年開講） 2 年次 ② 内容・ねらい 経済学を勉強するための基本的な方法の学習や実際の訓練を通じて、学習能力を高める ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 レポート作成やデータ分析などを通じて、学生の学習能力を高める
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 演習 I（4 単位 毎年開講） 3 年次 ② 内容・ねらい 応用経済学の視点から実際のデータを用いて、中国経済成長の実態を解明する。 前期では特定のテーマを設定し、関連データを収集し、Excel で分析を行う。 後期では特定のテーマについて調査・研究を行った上で、レポートの作成、ゼミでの報告質疑応答を行う。 ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 実際のデータ分析を通じて、応用経済学の分析方法を習得させ、中国経済の実態を理解させる

①担当科目（単位数） 主たる配当年次等

演習Ⅱ（4単位 毎年開講） 4年次

② 内容・ねらい

演習Ⅰの統計分析に基づいて、卒論の作成を行う。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

論理的な分析力の向上に努力する

①担当科目（単位数） 主たる配当年次等

東アジア経済特論（2単位 毎年開講） 大学院

②内容・ねらい

東アジア生産ネットワークの形成と国際分業関係の変化

東アジアにおけるリージョナリズムの進展

中国を含めた東アジアの経済動向と日本の対応

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

実際のデータ分析を通じて、応用経済学の分析方法を習得させ、東アジア経済の実態を理解させる

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	
	【 本】
②学術論文（査読あり）	
①単著：「中国の一带一路に潜む債務持続性の問題をどう見るべきか」（一般財団法人日中経済協会『日中経協ジャーナル』2020年9月号掲載）。	
	【 1本】
★トピック・コラム・新聞寄稿	
①「終息に向かいつつある中国の新型コロナウイルス」『世界経済評論 IMPACT』2020年2月24日	
②「中国、科学技術強国への躍進と中米新冷戦の行方」『世界経済評論 IMPACT』2020年12月28日	
⑤その他の公表実績	
	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
北東アジア学会 常任理事（2009年10月～現在） 北陸環日本海経済交流促進協議会（北陸 AJEC） 理事、企画部会委員、企画小部会委員（1998年～現在） 国際アジア共同体学会常任理事（2015年～現在）	

5. 地域・社会貢献活動

北陸環日本海経済交流促進協議会理事、企画部会委員

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

福井県立大学『経済経営研究』編集委員（2020年4月1日～2021年3月31日）

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など